

国内有数のビジネスプランコンテストで高い評価 起業家精神で魅力ある大学づくり目指す

崇城大学

学生起業家育成を目指す「起業部」が、創部1年目にして国内のビジネスプランコンテストで目覚ましい成果を見せている。アントレプレナーシップ(起業家精神)の大切さを学ぶことを重視した同大学の取り組みが具体的な形として現れつつある。魅力ある大学、魅力ある地域づくりの挑戦が始まろうとしている。



起業部メンバーと笑顔を見せる中山峰男学長(写真・中央)



SCB放送局では、地域活性化を目的とした様々な取り組みを題材に番組を製作。写真は崇城大学情報学部1階にある「SCBスタジオ」



「崇城大学SCB放送局 新市街スタジオ」前での記念写真に収まるSCBスタッフならびに関係者



profile

中山 峰男 学長

なかやま・みねお / 47年9月22日生まれの67歳。漢方薬高校～熊本大学工学部卒。趣味はゴルフ。71年積水化学工業入社。80年4月に若が瀬学園に入り、89年法人課長、93年熊本工業大学附属情報技術専門学校校長(現崇城大学専門学校)、97年法人局長、03年(学)君が瀬学園理事長に就任。03年12月1日(学)君が瀬学園理事長、崇城大学学長、(学)文徳学園理事長就任

を集めようだ

飛行訓練を学内で一貫教育

パイロットの人材育成需要の高まりを受け2008年4月にスタートした崇城大学宇宙航空システム工学科航空操縦学専攻。受験志願者も年々増加し、定員20名に対して今年も157人が受験し、23人が合格を果たした。全国で唯一、空港施設に隣接した空港キャンパスを持つ恵まれた環境と、国内のパイロット養成課程を持つ大学では初めてのボーイング社型B737-800型フライトシミュレーターを導入するなど、国内屈指の優れた教育環境を誇る。中山峰男学長は「すべての飛行訓練が学内で一貫して行える、国内では他に類をみない充実した環境を誇ります。教育の質の高さも日本と自負しています。エアラインの機長経験者や元訓練官が、技能だけでなくパイロットとしての責任感や使命感などの指導も徹底しています」と語った。

| DATA | |
|------|--|
| 所在地 | 〒860-0082 熊本市西区地田4丁目22-1 |
| TEL | 096-326-3111 |
| 設立 | 昭和24年4月電気・電波学校創立、昭和42年熊本工業大学設立 |
| 学部構成 | 工学部5学科、芸術学部2学科、情報学部1学科、生命生命学部2学科、薬学部1学科 [大学院] 工学研究科博士後期課程6専攻、修士課程7専攻、芸術研究科博士後期課程1専攻、修士課程2専攻、薬学研究科博士課程1専攻 |
| 学生数 | 約3500人 |
| 関連機関 | DDS研究所、機能物質解析センター、エネルギーエレクトロニクス研究所、応用微生物研究所、衛星先導技術研究センター、崇城大学キャリアー 崇城大学専門学校 |

国内トップクラスの ビジネスプランコンテストで最終選考に

昨年12月に開催された経済産業省主催ビジネスプランコンテスト全国大会(UNIVERSITY VENTURE GRAND PRIX 2014)に、崇城大学起業部が出場。装着型ロボットスーツの開発・販売事業をテーマに、全国の大学生・大学院生が発表した69プラン中書類選考で選出された9プランの一つに選ばれるという活躍を見た。さらに独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下・NEDO)が公募する起業支援プログラム(以下・TCP)の海外版に採択され、今後はNEDOの本格的なTCPを受講しながら、シリコンバレーなど海外での事業展開を目指す。同じく昨年12月18日に開かれた熊本県主催のビジネスプランコンテストでは「南米コロンビアにおけるカレーチェーン事業」で見事大賞を受賞。受賞した加曾利亮地さんは早くも5月にコロンビアで起業し、営業を開始している。同コンテストには今回26件の応募があり、優秀賞、奨励賞も同大の学生3チームが入賞した。また同大学では今年1月に「第1回崇城大学ビジネスプランコンテスト」を開催し、日本を代表する投資家やマイクロソフト、アマゾンといったグローバル企業から審査員を迎え、大学としては国内最大規模のコンテストを開催している。

理論を实践で生かす起業部 起業家育成プログラムの中核に

2014年10月に設立した「崇城大学起業部(SOJO Ventures)」は、「起業」をテーマにした全国でも珍しい大学公認の部活動で、国内の大学では初の試み。部員は学部1年生から大学院生までの30人。顧問にはベンチャー起業家教育の専門家である熊野正樹准教授が就任。ビジネスプランの作成やコンテストへの出場など、積極的に

活動している。今年2月には大阪市主催のシリコンバレー人材派遣プログラムに起業部から5人が選ばれ、スタンフォード大学やグーグル、アップルなどの企業を訪問。さらには、シリコンバレーの投資家に対して英語でプレゼンテーションを行い高い評価を得た。

同大学では、学生が発案するベンチャービジネスが大学の活性化と、雇用創出などの地域経済への貢献につながるとして、14年4月に「崇城大学☆起業家育成プログラム」を開設。全学部共通科目に「ベンチャー起業論」を導入したほか、「崇城大学スタートアップラボ」も開設した。

様々なビジネスプランコンテスト出場など、活発な活動を展開する「起業部」は、理論を实践で生かす役割を担う、まさに同プログラムの中核をなす存在といえる。同大学では、大手IT企業・サイバーエージェントが運営する、ネット上でビジネスアイデアをプレゼンし賛同者を集めるクラウドファンディング事業・Makuakeとの提携や、熊本県との連携、シリコンバレーオフィスの開設、ベンチャーキャピタルの設立など、今後も起業家育成に向けた積極的な取り組みを予定している。

中央区新市街に番組制作スタジオを開設

星合隆成崇城大学教授の指導の下、各種番組制作ならびに、起業支援のためのワークショップなどの事業に取り組む、崇城大学発「Tベンチャー・コンセプトラボ」(合志市、香月千晶社長:本学情報学部3年生)は今年4月、熊本市中央区新市街のテナントビル1、2階にラジオ・テレビ番組及びネットコンテンツ制作スタジオをオープンした。名称は「崇城大学SCB放送局新市街スタジオ」。1階(床面積約30㎡)をネット配信放送スタジオに、2階(床面積約60㎡)を会議室として利用する。農業、起業をテーマとした各種ワークショップの場として既に活発に利用されており、地元初の地域活性化事業の拠点として今後期待